



# なばり

2011年(平成23年) 3月27日発行

主 体 内 容

- 1~2.....地震対策
- 3.....図書館・総合体育館案内、税ごよみ
- 4.....名張市史だより
- 5.....名張保護司会便り
- 6~7.....暮らしの情報
- 8.....ナッキー号時刻表、救急輪番表

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

家庭での地震対策を2ページに掲載しています

## 地震発生時の行動マニュアル

### 地震発生 3秒前後

地震だ!

- ・落ち着く
- ・身をかかす



### 3分前後

揺れがおさまったら...

- ・火元の確認
- ・家族は大丈夫?
- ・ラジオをつける
- ・靴を履く
- ・車でなく徒歩で避難



### 3時間前後

みんな無事か?

- ・余震に注意
- ・漏電、ガス漏れに注意
- ・隣近所で助け合おう
- ・ブロック塀やガレキに近づかない



### 3日前後

救出、救援活動が本格化

- ・水、食料は備蓄でまかなう
- ・正確な災害情報入手
- ・親せき、知人に安否を連絡
- ・家を離れるときはメモを貼る
- ・壊れた家に入らない
- ・譲り合いの心を持とう
- ・無理はやめよう



ご協力ください

### 東北地方太平洋沖地震 義援金

市内の主な公共施設に募金箱を設置しています。また、名張桜まつりイベント会場(4月2日開催予定)にも設置します。

お寄せください

### 被災地への救援物資

被災地へ送る救援物資(下枠内参照)をお寄せください。

**受付場所** 市役所1階市民ロビー(毎日午前8時30分~午後5時15分)

**☎** 生活支援室 ☎63-7582



倒壊家屋などで生存者を捜索した市の緊急消防援助隊。「どこから手を付ければいいのか…。想像を超えた惨状だった」と振り返った一。

(山田市若林区/3月14日)

## 3・11 東北地方太平洋沖地震が発生 巨大地震に備え、家庭での地震 対策を見直しておきましょう。

3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、甚大な被害をもたらしています。一方、東海地震も、いつ起きてもおかしくないといわれています。地震に備え、皆さんの家庭でも地震対策を見直しておきましょう。

### ■東海地震の発生時期は?

静岡県西部・駿河湾一帯が震源となる東海地震。マグニチュード8クラスの巨大地震で、広い範囲で強い揺れが起こり、津波や斜面崩壊などによる大きな被害が想定されています。

### ■名張市での被害は?

東海地震は、東南海地震や南海地震とはほぼ同時期の百数十年周期で発生しています。しかし、東海地震だけが、前回の地震発生から150年近く経っても発生していません。そのため、いつ起きてもおかしくないといわれています(東海地震1854年発生、東南海地震5弱の地震では、重い家具が倒れたり、壁や柱が傾いたりします。また、被災地域が広範囲に及ぶと、他地域からの救助や救援が遅れる可能性もあります。一方、活断層といわれる名張断層が引き起こす地震が、万が一起

きると、震度6強が想定され、耐震性が低い建物の倒壊や山崩れなどが起こる可能性があります。市では、こうした地震に対応するため、新消防庁舎建設のほか、避難所の耐震化、木造住宅の耐震診断を進めるとともに、総合防災訓練(9月に県の防災訓練を名張市で実施予定)や、各地区の防災訓練への協力、食糧や毛布などの備蓄などに取り組んでいます。しかし、災害への備えに万全はありません。また、東北地方太平洋沖地震は、想定を超える災害であったといわれています。まずは、各家庭での日ごろの備えが大切です。家具の転倒防止や家屋の耐震補強、そして、非常用物品の備蓄など、家庭での地震対策を見直しておきましょう。

☎ 危機管理室 ☎63-7271

### 救援物資受付品目 [3月22日午前現在]

紙おむつ(大人用・子ども用・幼児用・新生児用)、尿取りパッド、タオル(バスタオルを含む)、生理用品、使い捨てカイロ、乾電池(単1~単4)、石けん、乳児用調整粉乳(新生児用粉ミルク)、賞味期限が3ヵ月以上ある

保存食(乾燥米飯、缶詰米飯、乾パン、即席麺)、トイレトーパー、ボックスティッシュ、ウェットティッシュ

※いずれも新品(未使用)の物品をお寄せください。衣類など受付品目以外の物品は、当面、受け入れはいたしません。

※震度想定は、三重県地域防災計画被害想定調査データベース参照 ※救援物資の受付品目や受付時間などは変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

## 準備しておこう！ 非常持ち出し袋

最低3日分の  
備蓄を!!



非常持ち出し袋の中身、家庭での備蓄品の例

### 貴重品

- 現金
- 預金通帳や有価証券の写し
- 健康保険証の写し・認め印

### 衣料

- 下着(家族分)
- 衣類(長袖のもの)
- 雨具・タオル

家族構成や季節などによって必要物品は異なります。家族で話し合っておきましょう。

### 食料品

- 飲料水(一人1日3ℓ必要)
- 乾パンやクラッカー
- レトルト食品・缶詰(缶切・ナイフ)
- 粉ミルク・ほ乳ビン



### 医療用品

- 三角巾・包帯・ガーゼ
- 消毒薬・ティッシュ
- 紙おむつ・生理用品
- 常用薬  救急キット

### 飲料水用ポリタンク



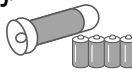
### 防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・パール
- ロープ・ノコギリ



### 燃料・照明器具ほか

- 卓上コンロ
- マッチ・ライター
- 懐中電灯(予備電池)・ろうそく
- 予備のめがね・補聴器・入れ歯など



※■は、袋に入れない備蓄品

■ビニールシート ■寝袋・毛布

【過度の買い溜めなどはせず、冷静な行動をお願いします】

# 地震対策

地震はもちろん、さまざまな災害にも関連する家庭での対策をまとめました。



☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

## 家族で開こう！ 防災会議

いざというときあわてずに行動できるように、家族みんなで災害対策を話し合しましょう。

### チェックポイント

- 家の中の危険箇所は？
- 非常持ち出し袋や備蓄品は何か必要？
- 非常持ち出し袋や貴重品はどこにある？誰が持ち出す？
- 避難場所は？避難経路は？
- 家族間の連絡方法は？最終的に落ち合う場所は？
- 火の始末は誰がする？逃げ道は誰が確保する？
- 家族での防災チェックを行う日を定期的にあらかじめ決めておきましょう。



## 確認しておこう！ 災害時の情報入手方法

- **広報車** 避難勧告などを広報車でお知らせします。
- **サイレン** 区域内の住民の皆さんへの避難勧告発令時、約1分(5秒休止)のサイレンが鳴ります。サイレン設置場所…名張小、蔵持小、薦原小、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、旧長瀬小
- **テレビやラジオ** FMなばり(83.5MHz)で名張市の避難・災害情報などを放送します。
- **緊急地震速報** 地震発生直後、震源地近くからのデータから、各地の震度などを推定し速報を通知。テレビやラジオで放送されるほか、携帯電話への配信も行われています。(設定方法など詳しくは各携帯電話会社へ)。速報を知ったら、まず身の安全を確保してください。
- **地域防災無線** 避難所や公民館、各地区自主防災隊に配備され、市からの情報を伝えたり、現地の状況を災害対策本部に伝えたりします。
- **インターネット** 市ホームページに緊急情報を掲載。防災みえ.jp (<http://www.bousaimie.jp/>)でも情報をご覧いただけます。
- **災害用伝言ダイヤル「171」** 災害時の安否確認などが可能。「171」をダイヤルすれば、自宅電話番号を使って、伝言の録音・再生が行えます。

### 防災ほっとメールにご登録ください

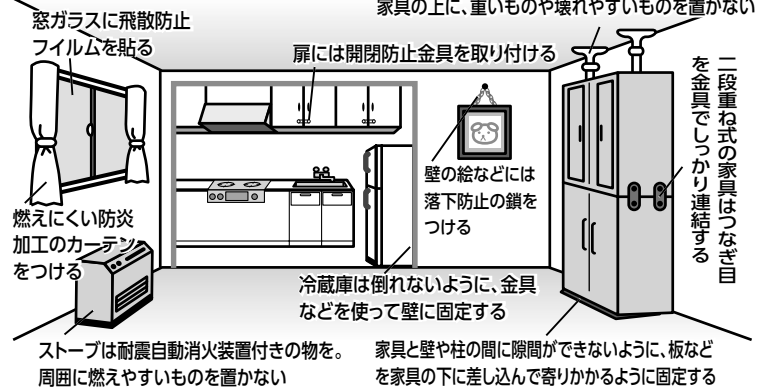
避難や災害の情報を携帯電話に電子メールでお届けします。避難所などでもご確認いただけます。

<http://www.anshin-bousai.net/nabari/>に接続すると登録できます。(上記QRコードでも接続可)



## しっかりチェックしておこう！ 家の中の危険箇所

背の高い家具はL字金具や支え棒などで固定。家具の上に、重いものや壊れやすいものを置かない



**DATA** 市では、通常時、毛布を1,900枚(現在うち800枚を被災地へ)、非常食(アルファ米)約10,000食、乾パン約400食、粉ミルク13.6kgなどを備蓄。また、各避難所には毛布(20~80枚)や簡易トイレ(1セット)などを配備しています。また、他の自治体(大阪府交野市・奈良県香芝市・和歌山県橋本市)や流通事業所と災害時物資援助協定を結んでいます。ただし、大規模災害に十分に対応できるものではなく、基本的には、ご家庭での備蓄が不可欠です。

## 東北地方太平洋沖地震への市の救援活動状況

3月22日午前現在

**緊急消防救助隊**…3月11日に被災地へ向け出発。21日までに、延べ25人が被災地へ入り、余震が続き、津波や被爆の恐れのある中、生存者捜索や、救急搬送などに全力を尽くしました。



**市営住宅の提供**…市営住宅6戸を被災者などを対象に無償提供することとしました。県を通じて情報提供するなどしています。

**救援物資**…3月14日に市の備蓄毛布800枚を被災地へ。他の備蓄品も要請があり次第提供する予定です。また、同日より義援金募金箱を市内の主な公共施設に設置。18日からは皆さんからの救援物資受付を開始しました。



■無料木造住宅耐震診断…昭和56年5月31日以前に建築(着工含む)された木造住宅の耐震診断を平成23年度も実施予定です(諸条件あり)。募集については詳しくは、広報なばり4・4号に掲載する予定です。☎ 63・7740 (国営住宅室)